



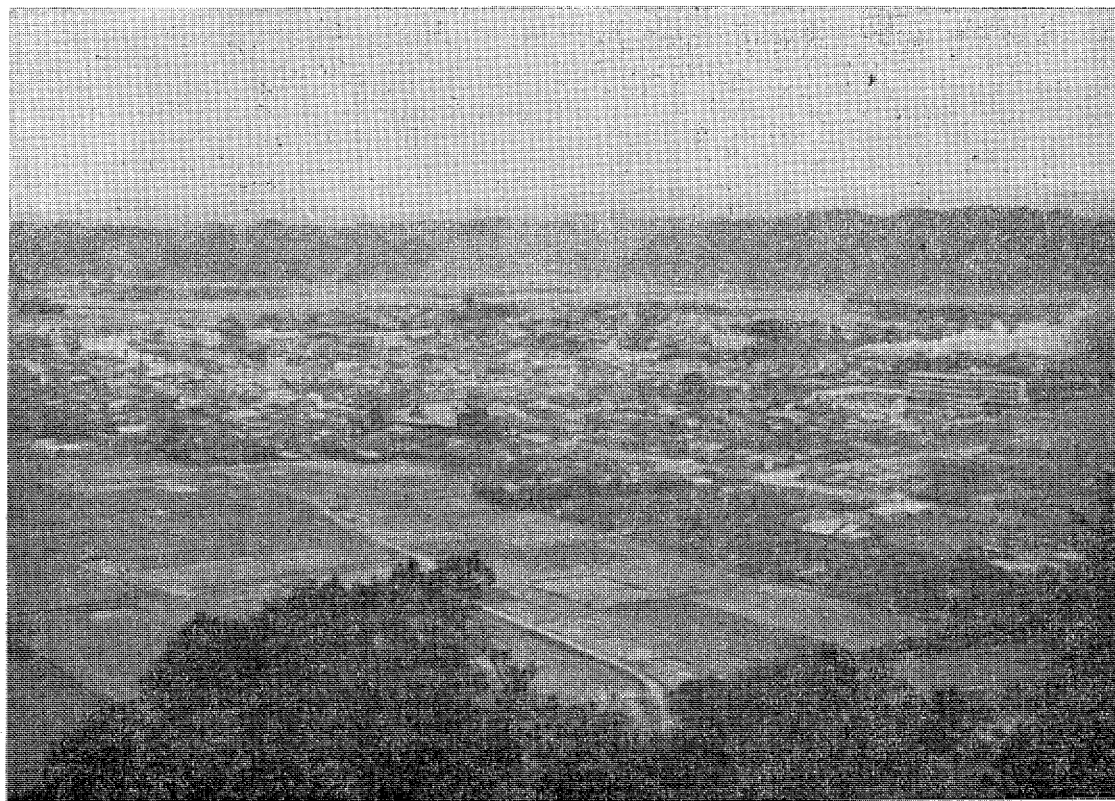
廣報

かじき

第107号

41. 1. 30 発行
発行所 鹿児島県始良郡
加治木町役場
発行人 曾木隆輝
編集人 中元邦夫
印刷所 吉屋印刷

全ご家庭に、もれなく配布



明 け ゆ く 加 治 木

皆さんそろって輝かしい新年をお迎えになったこととお喜び申し上げます。

終戦の年に生れた人が本年は成人式を迎え、はればれとした希望を胸一ぱいふくらまして、おとなの仲間入りをしました。

この20年を振り返ってみますと、私達の郷土加治木も大きく変り、発展してきました。

戦災復興による市街地の整備に始まり、文教施設、環境衛生、道路や橋と年ごとに充実して

ゆきます。

その中で私達が最も強く感じていることは、何よりもまず「平和である」ということでしょう。

これからも平和な町、住みよい町となるため年の始めに当って認識を新たに、町民一人一人がそれぞれの立場で努力を積み重ねていくことが望まれます。

(写真は黒川山頂からうつす)

新年を迎えて

町長 曾 木 隆 輝

あけましておめでとうございませう。昨年中、世界中のあちこちでいろいろ大きな事件も起こりましたが、日本でも、国際的にも国内的にも大きな過程を経ました。

町民の皆様も悲しい思い出や、うれしい出来事とかさまざまな経験をもって、元旦を迎えになったことと存じます。特に、不況ムードという中央の影響をお受けになった方もおありのことと察せられます。

しかし、とにもかくにも、お懃やかに御越年なさった方々におよろこびを申し上げますと共に、御苦惱の中に新年を迎えられました方々には心から御同情の意を表します。

新年度の国の予算も、どうやら年末に決定を見たようであります。が、国の台所は楽でないので、公債発行にまよりました。その影響と、物価値上りの傾向は、公共料金も同様ですので、一般の生活はなかなか容易であるまいと思いません。

町民の皆様もどうか困難を乗り越えて、悔ない一年をお過しただけですよう切にお祈りします。

町政につきましては、昨年中一

方ならぬ御協力いただきましたことを感謝申し上げます。新年にはいりますと、もう四十二年度の計画にはいるわけですが、財政的に

切り盛りは決して楽ではございせんが、精いっぱい努力を重ね、一步でも町政発展に資したい所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。私どももこの郷土が自治体としてまた産業的にも文化的にも一段と飛躍する年である、と大いに夢をもつてのぞみたいと思ひます。

町民の皆様のお幸福をお祈りします。

無火災の決意も新たに

消防出初式勇ましく挙行

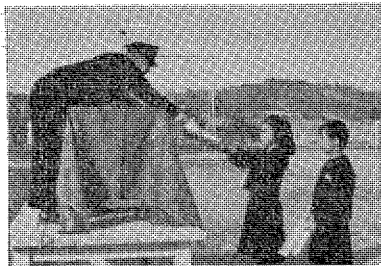
去る一月十一日好天に恵まれて本町の消防出初式は国分自衛隊のラッパ隊の参加を得て、市中行進に引き続き午後一時から加治不高校グラウンドでいろいろの行事が勇ましく挙行されました。

よく整備された機械力と訓練された団員のきびくした動作に、すつかりたのもしさが感ぜられました。

昨年は喜に錦江町で大火があった後でもあり、本年こそは火災の



放水演習



防火ポスター入選者知事賞受く

予防にますます努力し、無火災で終るよう決意を新たにしました。当りの表彰式で表彰された方は次のとおりです。

△防火ポスター入選者県知事表彰
原口つや子(だ城小六年)
川俣道子(加中一年)
宮原さつき(加中二年)

△始良支部長表彰
前田重男、松尾直

△町長表彰
分都省吾、吉村虎男、山元徹、郡山貢、東木義男、鹿屋春男、石原章、緒方登

△消防団長表彰
桐原広志、杉田秀清、坂元正夫、川床利男、大園広人、南原美輝夫

△永年勤続者表彰
20年勤続松尾利光、15年勤続有川泰雄、福園克己、畠中博、花牟礼幸哉、大宮路一行、福丸早苗、上瀬清高、大園謙、小宮路静哉、中野実行、10年勤続山元透、川床利夫

△感謝状
武田重子、日高一男、小山田地
区消防後援会、垂ノ口部落、市
来原部落、小山田消防分団、大
宮路栄、宮永栄治

錦江町に大火

12月には町内あちこちに火災が発生し、ボヤですんだ所は伺よりでしたが、錦江町の宮崎、中原、寺師、平原さん宅等の火災は折からの強風で、町消防団はもちろん始良、隼人、溝辺町の消防団もいち早くかけつけて鎮火に大活躍しました。

この火災は本町最近での大火であいに、るすのため、宮崎、寺師さん宅は家財全焼という悲運となつてしまいました。

しかしながら、よくあれだけで、い止められたと県当局も消防の活躍に感心していましたが、一時はどうなるかと附近の人々も全く肝を冷やしました。

冬は火災の多い季節です。くれぐれも注意しましょう。

2月の家庭の日は20日です

子どもと共に

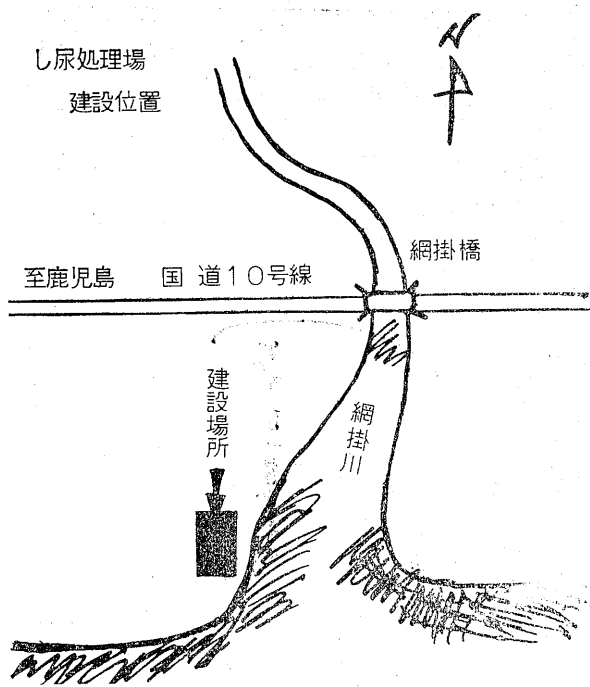
たのしく

し尿処理場起工式挙行さる

42年3月完成の予定

始良郡西部四カ町（加治木、始良、蒲生、溝辺）で結成している始良郡西部衛生処理組合は、加治木町内にし尿処理場を建設することになり、網掛川の右岸下流の新田地区に用地を購入しましたが、地区の方々から発展を阻害すると異議が出され、話し合いの末

場所をさらに南側に移すこととなり、場所を得られたので、大平建設工業と工費五千四〇六万円を契約を結び、12月22日関係者が集まり、現地で起工式が行なわれました。この工事は42年3月までかかり、近代設備を誇りつばな施設が実現することになります。



し尿処理場起工式

成人式と国民年金

成人の日おめでとう。
胸をはり、どうと、おとなの仲間入りです。
政治にも参加することになります。
町づくり、村づくりにもすすんで協力しましょう。
まず日本をみんなの手でりつぱな

福祉国家に築き上げましょう。
福祉国家とは、国民のうちで、ひどい金持もないが、ひどい貧乏人もいない、だれもが、ならして豊かな暮らしのできる国家といえましょう。

そうした国にするには、いろいろな制度が必要です。社会保険制度はその最も重要なものです。

国民年金はその社会保険制度の一つとして誕生しました。この国民年金は被保険者の納める毎月の保険料に国が半分ずつ足し前をして、積み立ててゆくというきわめて有利な制度です。これには法律で定める一定の範囲の人は必ず加入しなくてはなりません。

法律には「日本に住所を有する二十才以上六十才未満の日本国民」とありますが、一部の人はこれからはずされています。

ことし成人式を迎える人の中には、すでに年金手帳を受けている人もありますが、多くの人がまだ手帳を受けていませんので、自分は当然年金に加入すべき対象になっているかどうかを確認して、当然加入の対象のときは、まず年金手帳を受けて、おとなの仲間入りしましょう。

（役場福祉係に年金のパンフレットやリーフレット等がありますので利用してください。）

汐入新田に

私立高校出現

網掛川右岸、塩入新田約一、八ヘクタールの敷地に私立高校が建設されることになり、既に福岡の高山建設の手で鉄筋三階建ての工事起工することに決まりました。当初吉原地区を考え、用地買収にかかりましたが、入手が困難で急に塩入に変更し、41年度開校をめどに買収に当たったのですが、案外用地買収に手間どり、ついに年末となってしまいました。

業者は二、三カ月では校舎建築は絶対に不可能とのことで、建築は本年夏過ぎまでを工期として、42年度から開校するよう、やむを得ず延期されることになりました。

世帯人口の推移

(昭和40年1月1日現在)			
◎ 世帯数	5,256		
◎ 人口	19,161人		
◎ 男	9,055人		
◎ 女	10,106人		
◎ 昭和40年12月中の自然増減			
出生	26	死亡	20
転入	97	転出	79

議会のまど

一般会計
予算累計

定例第四回
町議会は12月
14日から21日
まで開かれ、

一般会計、特別会計上、水道の各補正予算をはじめ、公益質屋、小山田、西別府の両出張所の廃止等を議決しましたが、その主なものは次のとおりです。

一般会計第三回補正予算

一般会計補正予算は三三六万一千円で、その主なものは、財政調整基金九〇万円、土地購入（加中補助グラウンド入口ほか）四二万円、予防費（インフルエンザワクチン）三〇万円、家屋調査二六万円その他となり、累計は二億五千四三〇万円となります。

町立学校使用条例の制定

従来からあった条例を廃止し、新しく制定したもので、学校施設の使用についての権限を町長から教育委員会に移したほか、使用料を次のように定めた。

二億五千四三〇万円

公益質屋 西別府 出張所 廃止

講堂、屋内体育館

昼一、〇〇〇円 夜二、〇〇〇円
〇円教室（一教室につき）
昼五〇〇円 夜八〇〇円

公益質屋と、小山田

西別府、出張所 廃止

経済の発展、交通の利便等によって何れも利用者が少なくなったため、公益質屋は本年一月一日から、二つの出張所は二月一日から廃止することになりました。

学有林設置

条例の一部改正

だ城小の学有林廃止に伴う改正で、だ城小の学有林は竜門中と中野小へ移管し、西別府黒葛迫の加中、竜門中、永原中三校の学有林を加中と永原中の二校に変更されました。

採択になつた陳情

▲母子健康センター設立に関する陳情（町助産婦会提出）
▲永原中学校渡り廊下、養護室並びに更衣室の新設について（永原中PTA会長提出）

香典返しを寄附

社会福祉協議会へ

一金貳千円也	上木田	一金貳千円也	飯屋町	一金五千円也	新富町	一金貳千円也	桶園東	一金五千円也	本町	一金五千円也	上東木	柳田	一金参千円也	浜	一金五千円也	飯屋町	山口	操殿
須崎	郡山時光殿	下嶽	北村義親殿	竹下	野中なほ殿	諏訪町	壹岐桶子殿	本町	岩田豊子殿	高橋フイ殿	川畑 茂殿	前田 貢殿	野田 勝殿	法元盛秀殿	山口 操殿			
一金貳千円也	須崎	一金貳千円也	下嶽	一金五千円也	本町	新富町	高橋フヂ殿	一金五千円也	新富町	一金貳千円也	諏訪町	大金貳万円也	諏訪町	一金五千円也	壹岐桶子殿			
一金五千円也	新富町	高橋フイ殿	岩下栄助殿	川畑 茂殿	前田 貢殿	野田 勝殿	法元盛秀殿	山口 操殿	ありがとうございました。									

町育英資金へ

農地報償金の

申請は早目に

昨年から農地を買収された人に対する給付金請求書の受付を農業委員会事務局で取り扱っておりありますが、現在まで百件程度の提出がありました。

地を買収された方が、まだほかに相当数あると思われ、できるだけ書類等が完備し、できるだけ早目に請求書を提出してください。

なお、くわしいことは農業委員会事務局におたずねください。

添付書類は次のとおりです。

- 一、買収合書又は登記簿抄本
- 二、戸籍抄本（死亡の場合は謄本）
- 三、承諾書（死亡の場合）
- 四、被売渡農地調査結果通知書

小 柵 科学館の建設と

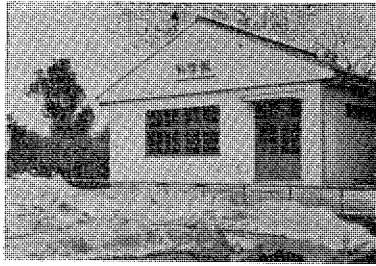
加中の校舍改築

△科学館

だ城小学校に立派な科学館ができました。

この科学館は、町費八十四万円をかけて二五坪のモルタル、平屋建て生物室、天文氣象室、理科工作室の三室からなり、生物室には動物の標本や人体模型などが置かれています。

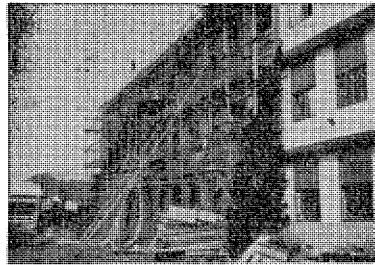
同校はこれまで科学技術庁長官賞を二回、県の発明工夫展示会では数回も特選にはいり、三十八、三十九年に知事賞をもらするなど優秀な成績をあげています。



だ城小科学館と実習地

なお、同校PTAでは毎月一戸当り五十円を出しあい、三年計画で備品を完備することになっています。

現在加治木中学校では、四十年年度工事として危険校舎の改築を急いでいます。



工事すすむ加中校舎

△加中校舎改築

この工事は昨年十月五日、工費一千六百三十一万円（二三三坪）をかけ、中島建設KKが工事をするためおります。完工は三月末です。

前教育長市来村氏は12月末突然卒倒され、ついに元旦早朝せいにされました。3日に准教育委員会葬がしめやかに行なわれましたが、同氏は日置郡市来町出身で、末吉町、鹿屋市などの中小学校を経て、昭和26年、本町教育長に迎えられ、三期間、町内の学校整備と教育向上に尽瘁され、その人格と手腕は広く敬われていましたが、晩年健康を害し、静養中でした。同氏の死去は教育界で非常に惜しまれています。

市来前教育長永眠さる

前教育長市来村氏は12月末突然卒倒され、ついに元旦早朝せいにされました。

3日に准教育委員会葬がしめやかに行なわれましたが、同氏は日置郡市来町出身で、末吉町、鹿屋市などの中小学校を経て、昭和26年、本町教育長に迎えられ、三期間、町内の学校整備と教育向上に尽瘁され、その人格と手腕は広く敬われていましたが、晩年健康を害し、静養中でした。同氏の死去は教育界で非常に惜しまれています。

新民生児童委員

新しい民生委員に次の方々が始まりました。向う三年間の仕事を

しまれています。昨年、鹿大水産学部の高橋堅蔵教授、文理学部の大山彦一教授1月2日には大口高校の志岐平一郎教授と本町出身の教育家が次々に他界され、教育加治木町の人材が相次いで失われたことは、まことに遺憾のきわみです。

特別給付金を受ける権利

三月で時効、手続きを早く

戦没者の妻に対する特別給付金支給の事務は、昭和38年4月1日から取り扱われてきましたが、特別給付金を受ける権利は、3年間これを行使しないと時効によって消滅することになっており、本年3月31日で時効が完成することになりますので、まだ請求されていない方は至急役場福祉課で手続きをしてください。特に次の点に気をつけてください。

1. 現在公務扶助料、遺族年金、遺族給与金および旧令による共済殉職年金等を請求中で、まだ裁定を受けていないものであつても、昭和41年3月31日で時効が完成するので、このような戦没者の妻も一応請求書を提出すること。
2. 法律施行の日以後、公務扶助料遺族年金等の裁定通知があった者で、まだ特別給付金請求書を提出しない者も請求すること。
3. 遺族年金等の受給の権利を取得たいいわゆる「再婚解消の妻」「日華事変中の戦没者の妻」および「判任文官等の妻」その他改正法に該当する戦没者の妻は対象外です。

新一年生の

健康診断日程

今年四月新一年生として小学校に入学される子どもさんの健康診断を次の日程で行ないます。

今年の新一年生は約三四〇名ですが、該当者に対しては、近日中に保護者あて町教育委員会から通知することになっております。

- 日程
- △錦江小学校 受付八時三〇分 二月十六日（水）
 - △龍門、中野小学校 二月十七日（木）
 - △受付午前九時三〇分 二月十八日（金）
 - △永原、鎮守小学校 二月十八日（金）
 - △受付午前九時三〇分 二月二十一日（月）

にたずさわっていただくことになります。（順序不同）

- 石原孝（柳田） 池端ヒデ（田中）
- 鶴田アイ（天神） 田中実（端山）
- 平山ヒデ（蒲生田） 竹内親男（今町）
- 楠森満男（吉原） 市来信子（礼立）
- 池畑守夫（汐入） 末永菊雄（楠崎）
- 草水政友（岩原） 谷山栄助（須崎）
- 根谷巳佐雄（隈原） 後藤重春（桃木野）
- 外村豊二（瀬戸口）
- 猪俣定雄（茶碗屋）
- 末永英次（中郷）
- 猪目英二（鞍掛）
- 吉田重義（迫）
- 宮脇基利（小田倉）
- 緒方吉行（長谷）
- 山下松男（楠原）
- 中野親雄（辺川下）

今年の成人者は 168名

昨年より64名の減

一月十五日は、男女青年が成年に達したことを喜び合いこれから公民として、平和日本建設に活躍できる資格を得た門出を祝福し、将来の発展を祈るなごやかな暖みのある祝日としての成人の日の行事を、午前九時三十分から加中体育館で行ないました。

今年の成人者は、昨年の二三二名に対し六四名の減で一六八名(男子八八、女子八〇)でした。成人式は、桑幡教育長の式辞にはじまり、町長から成人章が贈られ、白尾教育委員長から記念品として鏡がわくられました。



成人式風景

つづいて町長、議長、未成年者を代表して竜門中学校三年生猪俣和子さんの祝辞ののち、国立鹿児島工専教頭若松大助先生の「成人に期待する」講話をさき意義ある式典の幕を閉じました。

次に今年の成人者を紹介します

- 今町
 - 河野弘子、迫田久美子、山口園子、西田勝広、有村紀代子。
- 浜
 - 鬼塚尚一、隈元哲也、白川瑞恵、竹下久子、榎山浩司、原田雅子、別府照子、別府テル子。
- 口ノ町 西恵子。
- 札立 湯田華人、中村俊郎。
- 於里
 - 田島正啓、石津貞雄、馬渡弘子
- 西反土後 今蘭政治、奥秋彦。
- 西反土前
 - 福元恵美子、野村柳子。
- 竹下 春名浩信、高橋輝子。
- 田中
 - 湯浅幸男、下川路義尊、水口文雄、原田京子、黒江順子。
- 吉原
 - 岡元隆、新満勝造、新福トシエ
- 小陣 黒川タエ子、湊千広。

- 柳田
 - 金丸厚子、江口和子、市来敏子、篠崎弘子、永田泰子、福村道幸、弓場興祥、森永良友、今村勝己
- 西諏訪 焼山和子、渋谷啓子、日高政光、福永和子。
- 東諏訪 町田亮典、松元稔、小林治、内田猛夫、長谷場忍、西田恵子、水流田和子、田中隆子、田中加代子、山下俊作。
- 端山 米重香代子、松田与四郎、田中実行、船迫守。
- 新町 鬼塚泰、有田忍。
- 蒲生田 池崎千鶴子、笹山初枝、古閑福徳。
- 垂ノ口
 - 西岡庭勝嘉、小川絃一、瀬戸泉
- 江湖 橋口昭典。
- 下新道
 - 津崎富穂、湯浅宣義、隈原久美子、中原カツ子。
- 天神 岩次千洋、松元和子、後藤敏明、奥原睦。

- 城 城内妙子。
- 向江町
 - 北園正昭、大迫広志、田中穂積
- 浜村 増田正義、西村成子。
- 池平成男、柏木輝治。
- 須崎
 - 木ノ下幸雄、柳田三千代、郡山弘行、郡山淳子、白浜アツ子。
- 東塩入 久保利彦、前野美代子、有馬美保子、大迫政一郎。
- 中塩入 池田邦子、下水流勲。
- 南塩入 立元チツ子、前田孝男
- 西塩入 持留紀雄、岩下繁代、取達俊一、東鉄雄。
- 東岩原 川上俊治。
- みろく
 - 有馬民子、湯川昌子、横山勝男
- 新中 堀之内ヨシエ。
- 西ノ原 沢崎美千子、谷口二郎
- 楠園 中馬久美子、末永優子、六反澄則、下楠園毅。
- 中福良
 - 榊原嘉津子、岩穴口恵子。

- 上木田 児玉恒友、浜崎真一、今西律子、大脇俊彦、川俣従道
- 内原田 相羽孝師。
- 西岩原
 - 国生ツヤ子、山下静雄、仁田満江、吉崎ミツ子、川原正美。
- 高井田 山上陸男
- 療養所 宮路重和。
- 鶴原 向江重和。
- 布越 上妻睦 門田勝子。
- 御狩山 上別府満幸 遠矢義一
- 毛上 後藤忠道、二之方信良。
- 迫下 吉田管子、米森すみ子。
- 迫上 竹崎トキ子。
- 徳永 徳永きぬ子。
- 茶碗屋 前田齊。
- 宮田平
 - 坂元トミ子、島中キミ子。
- 西浦西、岩元道男。
- 川内 福元正彦。
- 長谷 常盤勝幸。
- 布越 内田勝子。
- 菖蒲谷下 島中律子、蓬原透
- 辺川下 大園安雄、大園準一。
- 桑迫 末永友邦。
- 新開 東川内肇。
- 赤谷 山口勝行。
- 弓削 今村ミツエ。
- 里下 西博之、松尾ミエ子。
- 日木山 西中村勝義、国生純子
- 永原 内村民子、永原辰二、内村ふじみ、内村米子、東彰子。
- 提水流 山下君子。
- 上嶽 樗木キヨ子。
- 隈原上 西森規夫。

水道が凍らないように注意を

寒い冬がやってきました。水道が凍らないように次の点に注意しましょう。

水道で凍るのは、おもに外部の管や水栓等でありますが、これらを直接寒気に当てないように、こゝとに夜分は注意してください。

外部の管はなわ類か布切れ類でおおいをし、水栓も夜分布切れ類でおおい、とくに寒気の強い夜は

少量の水を流し放しにする等の措置をしましょう。

万一凍ったときは、自然にとけるのを待つか、水栓の出口の方からぬるま湯を徐々に掛けて、気長くとかしてください。熱湯を急に掛けると破損します。

なお、漏水その他水道の事故はすぐ水道課にご連絡ください。

以上の成人者は、住民登録簿で調査し、さらに部落嘱託員に検討をお願いして名簿をつくったものです。